

# 令和6年 年頭のごあいさつ

うっすらと霧が立ち込む沼田台地に朝日が差す  
(撮影12/8朝 雨乞山登山道・白沢町高平)



沼田市長  
星野 稔

## 年頭にあたって

明けましておめでとうございませう。市民の皆さまにおかれましては、健康やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

振り返りますと、昨年は不安定な国際情勢による原油価格の高騰、円安や物価上昇などが市民生活と社会経済へ大きな影響を及ぼしました。

一方で、新型コロナウイルスが5類感染症へと移行され、私たちの生活や社会活動は少しずつ日常を取り戻してまいりました。

こうした中、本市では、4年ぶりの開催となる沼田まつりをはじめ、各種行事や大会が復活するなど、まさに活気にぎわいが戻ってまいりました。また、沼須人形芝居あけぼの座の活動が日本ユネスコ協会連盟による「プロジェクト未来遺産」に、玉原湿原が全国草原の里市町村連絡協議会による「未来に残したい草原

の里100選」にそれぞれ登録、認定されるなど、うれしい話題も多くありました。10月には2人目の親善大使に本市出身のお笑い芸人ほしのデイスコさんが就任し、沼田の魅力内外に発信していただいているところで。

さて、本年は市制施行70周年・水道事業100周年を迎える記念すべき年であります。式典をはじめ、さまざまな記念事業を予定しておりますので、市民の皆さまとともに記念となる事業を推進してまいりたいと考えております。

市政運営におきましては、引き続き、電子地域通貨「ten-go(てんごー)」を通じて経済循環や活性化を図るとともに、横塚工場適地への企業誘致実現に向けた準備を進めてまいります。また、豊かな森林資源の活用や環境政策にも積極的に取り組み、森林文化都市としての役割を果たしてまいります。

子育て支援の充実、社会インフラの更新、地域コミュニティの再構築など多くの課題はありますが、「ここから豊かに暮らし、しあわせを実現できるまち 沼田」の実現に向け、精一杯努めてまいりますので、変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この一年の皆さまのご多幸を心よりご祈念申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。



沼田市議会議員長  
中村 浩二

## 新年を迎えて

明けましておめでとうございませう。市民の皆さまにおかれましては、新春を健康やかに迎えのこと、議会を代表し心よりお喜び申し上げます。

また、日頃から市勢発展のために深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、国内外でさまざまな出来事が起こりました。世界情勢では、いまだ収束の兆しが見えないウクライナにおける戦争や、パレスチナ自治区ガザ地区に対する無差別爆撃など、悲惨な報道を目にするたびに、胸が締め付けられる思いであり、紛争の早期解決と、一日も早い平和の実現を願うところであります。

また、国内では、原材料価格や物流費の高騰により、食品やあらゆるサービスなどの値上げが相次ぐなど、暗い話題が続いております。こ

うした中、3年以上もの長期にわたる全世界を恐怖の渦に巻き込んだ新型コロナウイルス感染症が、昨年5月に季節性インフルエンザなどと同様の分類である「5類」に引き下げられたことは、一筋の明かりが差し込んだかの如く、市民の皆さまも安堵と希望が見えたのではないでしようか。あらゆる面において自粛モードであった市民生活も、徐々に活気が戻ってきたと実感しております。

議会といたしましては、開かれた議会、より身近な議会を念頭に置き、議会運営に努めるとともに、市民の皆さまのご意見やご要望を真摯に受け止め、市民生活を最優先に、福祉・医療・環境・産業振興・まちづくり・インフラ整備など、現在、本市が抱えているさまざまな課題に取り組んで、本市のさらなる発展のために、努力してまいりたいと考えておりますので、皆さまのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年、市制施行70周年・水道事業100周年であります。市民の皆さまと、この記念すべき年をお祝いするとともに、この一年が沼田市ならびに皆さまにとって輝かしいものでありますように心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。